

京都市告示第 575 号

地方公営企業法第 40 条の 2 及び京都市公営企業の業務状況公表に関する  
条例に基づき、平成 26 年 4 月 1 日から平成 26 年 9 月 30 日までの期間にお  
ける本市公営企業の業務状況を次のとおり公表します。

平成 27 年 2 月 19 日

京都市長 門 川 大 作

## 平成26年度前期京都市自動車運送事業業務状況

### 1 事業概況

当期一日平均旅客数は342千人となり、前年度同期に比べ11千人(3.4%)の増加となりました。

当期旅客収入は9,914百万円となり、前年度同期に比べ472百万円(5.0%)の増加となりました。

また、お客様サービス向上と増客・増収のため、以下の事業を実施しました。

- ゴールデンウィーク期間中における市バス・地下鉄の大幅増発と案内サービスを実施。
- 「清水道(南行)」及び「南太秦(南行)」のバス停留所に「バスの駅」を設置。
- 短冊や笹飾りなど七夕の装飾を施した「京の七夕 HAPPY BUS」の運行。
- 保護者一人につき小学生二人までの市バス小児運賃を無料とする「eco(エコ)サマー」の実施。

### 26年度4～9月 一日平均旅客数(バス) (単位：千人)

	25年度	26年度	対前年度増減率
4月	357	381	6.5%
5月	346	351	1.5%
6月	322	326	1.3%
7月	311	320	2.7%
8月	314	323	2.9%
9月	333	351	5.5%
4～9月累計	330	342	3.4%

1 経理の状況

当期における経理の状況は、次のとおりです。

(1) 損益計算書

(平成26年 4月1日から  
平成26年9月30日まで)

損 失 の 部	金 額	利 益 の 部	金 額
	千円		千円
自動車運送事業費用	12,226,438	自動車運送事業収益	10,833,789
営業費用	8,281,758	営業収益	10,628,170
保 存 費	675,455	運 送 収 益	9,857,381
運 転 費	3,578,574	そ の 他	770,789
管 理 費	3,463,460	営業外収益	205,619
減 価 償 却 費	564,269	他 会 計 補 助 金	77,000
営業外費用	36,975	府 補 助 金	9,311
支 払 利 息	26,948	長 期 前 受 金 戻 入	99,254
雑 支 出	10,027	そ の 他	20,054
特別損失	3,907,705		
その他特別損失	3,907,705		
		当期純損失	1,392,649
合 計	12,226,438	合 計	12,226,438

備考 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

## 2 貸借対照表

(平成26年9月30日現在)

資 産 の 部	金 額	負債及び資本の部	金 額
	千円		千円
固 定 資 産	20,915,853	固 定 負 債	8,126,045
有形固定資産	20,550,595	企 業 債	4,417,551
無形固定資産	11,521	他会計借入金	200,000
建設仮勘定	342,737	引 当 金	3,493,888
投 資	11,000	リ ー ス 債 務	14,606
流 動 資 産	2,430,951	流 動 負 債	2,191,136
現 金 預 金	406,276	企 業 債	418,404
未 収 金	753,289	他会計借入金	200,000
貯 蔵 品	42,149	未 払 金	903,119
貸 付 金	900,000	預 り 金	184,028
前 払 金	88,328	前 受 金	481,248
仮 払 金	239,939	仮 受 金	1,869
その他流動資産	970	リ ー ス 債 務	2,468
		繰 延 収 益	2,281,728
		長期前受金	2,281,728
		資 本 金	6,755,288
		資 本 金	6,755,288
		剰余金(欠損金)	3,992,607
		資 本 剰 余 金	2,825,979
		利 益 剰 余 金	1,166,628
合 計	23,346,804	合 計	23,346,804

- 備 考 1 有形固定資産の減価償却累計額は、286億991万円です。  
 2 長期前受金収益化累計額は、63億6,754万円です。  
 3 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

### 3 その他財政事情を明らかにするために必要な事項

#### (1) 企業債の状況

当期における企業債の状況は、次のとおりです。

区 分	期首未償還額	当期借入額	当期償還額	期末未償還額
	千円	千円	千円	千円
建設企業債	5,252,753	0	418,404	4,834,349
合 計	5,252,753	0	418,404	4,834,349

(参考) 運輸成績

〔平成26年 4月1日から  
平成26年9月30日まで〕

区 分	当期	前年同期	増減	増減比率
営業日数 (日)	183	183	-	-
営業キロ数 (km)	310.53	306.83	3.70	1.2%
在籍車両数 (両)	788	764	24	3.0%
使用車両数 (両)	128,903 (704)	123,553 (675)	5,350 (29)	4.3% (4.1%)
走行キロ数 (km)	15,413,984 (84,229)	14,875,368 (81,286)	538,616 (2,943)	3.6% (3.6%)
旅客数 (人)	62,546,217 (341,783)	60,464,772 (330,409)	2,081,445 (11,374)	3.4% (3.4%)
旅客収入 (千円)	9,913,502 (54,172)	9,441,783 (51,594)	471,719 (2,578)	5.0% (5.0%)

注1 営業キロ数及び在籍車両数は、各期末現在のものである。

2 使用車両数、走行キロ数、旅客数、旅客収入の( )内は、1日平均の数値である。

3 旅客収入は、消費税及び地方消費税相当額を含む。

## 平成26年度前期京都市高速鉄道事業業務状況

### 1 事業概況

当期一日平均旅客数は362千人となり、前年度同期に比べ10千人(2.7%)の増加となりました。

当期旅客収入は12,671百万円となり、前年度同期に比べ540百万円(4.4%)の増加となりました。

また、お客様サービス向上と増客・増収のため、以下の事業を実施しました。

- ゴールデンウィーク期間中における市バス・地下鉄の大幅増発と案内サービスの実施。
- 地下鉄の日の特別企画として、東映太秦映画村と連携し、イベント列車「ヒーロートレイン」の運行。
- 御家庭での電力使用を抑えるために「クールスポット」へのお出掛けを促進する取組の一環として、Kotochika(コトチカ)京都、四条、及び御池において、「節電サマーフェア」を開催。
- びわ湖大花火大会に伴う地下鉄の臨時増発の実施。
- 「Kotochika(コトチカ)アニバーサリーイベント」の開催。

26年度4～9月 一日平均旅客数(地下鉄) (単位:千人)

	25年度	26年度	対前年度増減率
4月	380	380	0.0%
5月	364	371	2.0%
6月	361	369	2.3%
7月	348	355	2.2%
8月	326	337	3.5%
9月	339	362	6.9%
4～9月累計	353	362	2.7%

1 経理状況

当期における経理の状況は、次のとおりです。

(1) 損益計算書

(平成26年 4月 1日から  
平成26年 9月30日まで)

損 失 の 部	金 額	利 益 の 部	金 額
	千円		千円
高速鉄道事業費用	19,268,924	高速鉄道事業収益	17,110,461
営業費用	11,305,328	営業収益	13,971,141
保存費	1,707,441	運輸収益	12,627,816
運転費	1,074,548	その他	1,343,325
運輸費	1,762,308	営業外収益	3,039,320
管理費	663,072	他会計補助金	1,289,350
減価償却費	6,097,959	府補助金	22,181
営業外費用	4,230,575	長期前受金戻入額	1,721,666
支払利息	4,223,923	その他	6,123
雑支出	6,652	特別利益	100,000
特別損失	3,733,021	その他特別利益	100,000
その他特別損失	3,733,021		
		当期純損失	2,158,463
合 計	19,268,924	合 計	19,268,924

備考 消費税及び地方消費税相当額を含みます。



## (2) 貸借対照表

(平成26年9月30日現在)

資 産 の 部	金 額	負債及び資本の部	金 額
	千円		千円
固 定 資 産	477,183,006	固 定 負 債	400,009,571
有形固定資産	475,609,334	企 業 債	330,052,398
無形固定資産	30,040	他会計借入金	34,218,200
建設仮勘定	1,488,032	府 借 入 金	2,652,060
投 資	55,600	引 当 金	3,416,029
流 動 資 産	2,156,033	その他の固定負債	29,670,884
現金預金	467,341	流 動 負 債	51,896,056
未 収 金	1,452,330	企 業 債	12,022,816
貯 蔵 品	5,235	他会計借入金	1,213,640
前 払 金	200,370	府 借 入 金	33,273
仮 払 金	29,857	一 時 借 入 金	32,650,000
その他流動資産	900	未 払 金	1,622,061
繰 延 勘 定	247,681	預 り 金	374,826
企業債発行差金	247,681	前 受 金	867,258
		仮 受 金	1,182,756
		その他の流動負債	1,929,426
		繰 延 収 益	119,672,495
		長期前受金	119,672,495
		資 本 金	207,466,152
		資 本 金	207,466,152
		剰余金(欠損金)	△ 299,457,554
		資 本 剰 余 金	9,104,445
		欠 損 金	△ 308,561,999
合 計	479,586,720	合 計	479,586,720

- 備考1 有形固定資産の減価償却累計額は、2,912億741万円です。  
 2 長期前受金の収益化累計額は、1,018億2,090万円です。  
 3 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

### 3 その他財政事情を明らかにするために必要な事項

#### (1) 企業債等の状況

当期における企業債等の状況は、次のとおりです。

区 分	期首未償還額	当期借入額	当期償還額	期末未償還額
	千円	千円	千円	千円
建設企業債	192,666,113	0	8,055,398	184,610,715
出資債	32,000	0	0	32,000
特例債	11,769,712	1,605,000	637,135	12,737,577
資本費負担緩和 分企業債	81,405,417	0	898,996	80,506,421
資本費平準化債	62,202,400	2,000,000	13,900	64,188,500
鉄道・運輸 機構借入金	34,029,575	0	2,441,039	31,588,536
長期借入金	39,364,086	0	1,246,913	38,117,173
合 計	421,469,303	3,605,000	13,293,381	411,780,922

#### (2) 一時借入金の状況

当期末現在の一時借入金は326億5千万円です。

(参考) 運輸成績

〔 平成26年 4月1日から  
平成26年9月30日まで 〕

区 分	当期	前年同期	増減	増減比率
営業日数 (日)	183	183	-	-
営業キロ数 (km)	31.2	31.2	-	-
在籍車両数 (両)	222	222	-	-
使用車両数 (両)	44,770 (245)	44,394 (243)	376 (2)	0.8% (1.0%)
走行キロ数 (km)	10,412,527 (56,900)	10,277,372 (56,161)	135,155 (739)	1.3% (1.3%)
旅客数 (人)	66,315,028 (362,377)	64,555,125 (352,760)	1,759,903 (9,617)	2.7% (2.7%)
旅客収入 (千円)	12,670,528 (69,238)	12,130,990 (66,290)	539,538 (2,948)	4.4% (4.4%)

注1 営業キロ数及び在籍車両数は、各期末現在のものである。

2 使用車両数、走行キロ数、旅客数、旅客収入の( )内は、1日平均の数值である。

3 旅客収入は、消費税及び地方消費税相当額を含む。

## 平成26年度前期京都市水道事業業務状況

### 1 事業の概況

当期有収水量は、前年度同期に比べ189万立方メートル（2.2パーセント）減少し、8,324万立方メートルとなりました。

当期給水収益は、平成25年10月検針分から料金改定を行ったことにより、前年度同期に比べ12億1,233万円（8.9パーセント）増加し、148億5,099万円となりました。また、当期総収益は、160億3,714万円となり、一方、当期総費用は、118億7,695万円となりました。

建設改良事業は、上水道施設整備事業として、蹴上浄水場pH調整設備設置工事、松ヶ崎浄水場下水放流設備改良（機械・電気）工事、新山科浄水場排水処理汚泥圧送設備（機械・電気）工事等を施工し、幹線配水管布設及び布設替え（延長1.2キロメートル）、支線配水管布設及び布設替え（延長12.3キロメートル）等を施工しました。

## 2 経理の状況

当期における経理の状況は、次のとおりです。

### (1) 損益計算書

(平成26年4月1日から同年9月30日まで)

損 失 の 部	金 額	利 益 の 部	金 額
	千円		千円
水道事業費用	11,876,952	水道事業収益	16,037,143
営業費用	4,537,441	営業収益	15,864,169
原水費	133,597	給水収益	14,850,989
浄水費	1,154,780	他会計負担金	36,995
配水及び給水費	1,798,906	その他営業収益	976,185
業務費	1,029,643		
総係費	419,051	営業外収益	172,974
資産減耗費	1,464	受取利息	4,514
営業外費用	1,313,515	長期前受金戻入益	697
支払利息及び 企業債取扱諸費	1,305,214	雑収益	167,763
雑支出	8,301		
特別損失	6,025,996		
当期純利益	4,160,191		
合 計	16,037,143	合 計	16,037,143

- 備考 1 当期は、減価償却費を計上していません。  
 2 当年度減価償却費予定額は、106億7,212万円です。  
 3 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

## (2) 貸借対照表

(平成26年9月30日現在)

資産の部	金額	負債及び資本の部	金額
	千円		千円
固定資産	282,661,921	固定負債	160,283,059
有形固定資産	279,540,299	企業債	148,339,929
無形固定資産	1,739,918	企業債償還積立金	3,992,880
投資その他の資産	1,381,704	リース債務	179,713
		引当金	7,770,537
流動資産	12,096,640		
現金預金	3,484,149	流動負債	5,888,112
未収金	3,124,344	企業債	4,253,146
有価証券	2,697,413	リース債務	31,895
貯蔵品	350,274	未払金	41,197
保管有価証券	200,000	前受金	388,687
仮払金	14,343	預り金	973,187
短期貸付金	1,000,000	預り有価証券	200,000
前払金	1,209,341		
その他流動資産	16,776	繰延収益	41,323,411
		長期前受金	41,323,411
繰延勘定	5,048		
企業債発行差金	5,048	資本金	30,693,021
		剰余金	56,576,006
		資本剰余金	9,515,382
		利益剰余金	47,060,624
合計	294,763,609	合計	294,763,609

備考 1 有形固定資産の減価償却累計額は、2,046億8,425万円です。

備考 2 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

### 3 その他財政事情を明らかにするために必要な事項

#### (1) 企業債の状況

当期における企業債の状況は、次のとおりです。

(平成26年9月30日現在)

区 分	期首未償還額	当期借入額	当期償還額	期末未償還額
	千円	千円	千円	千円
建設企業債	160,501,195	1,895,000	6,147,310	156,248,885
合 計	160,501,195	1,895,000	6,147,310	156,248,885

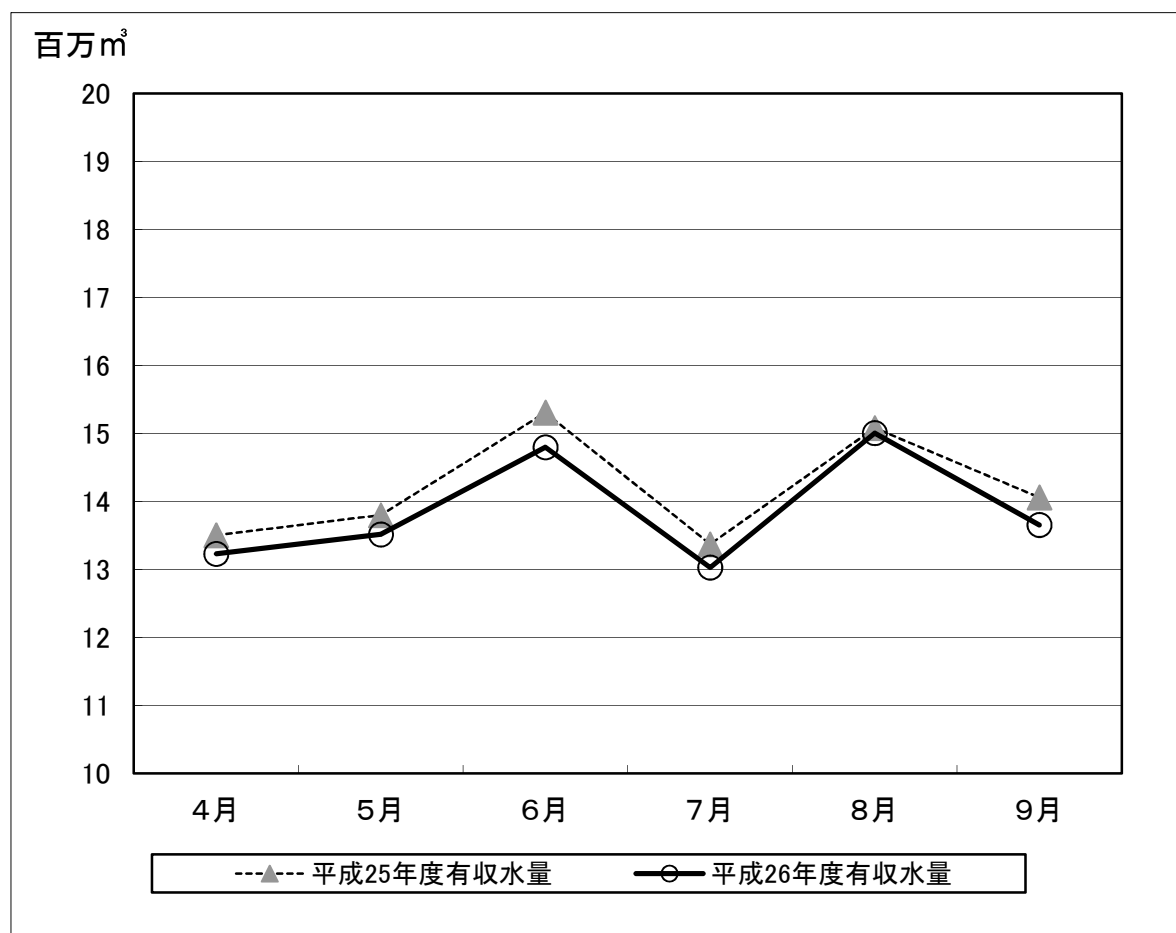
#### (2) 一時借入金の状況

当期末現在の一時借入金は、ありません。

(3) 有収水量

当期における有収水量は、次のとおりです。

月別 / 項目	有収水量
平成	m <sup>3</sup>
26年 4月	13,230,488
” 5月	13,516,020
” 6月	14,797,966
” 7月	13,030,162
” 8月	15,007,615
” 9月	13,656,413
合計	83,238,664
1日平均	454,856
前年同期1日平均	465,189





## 平成26年度前期京都市公共下水道事業業務状況

### 1 事業の概況

当期有収汚水量は、前年度同期に比べ208万立方メートル（2.2パーセント）減少し、9,053万立方メートルとなりました。

当期下水道使用料は、平成25年10月検針分から使用料改定を行ったことにより、前年度同期に比べ4億4,593万円（3.6パーセント）減少し、118億3,510万円となりました。また、当期総収益は、224億8,209万円となり、一方、当期総費用は、80億6,717万円となりました。

建設改良事業について、管渠<sup>きよ</sup>では、塩小路幹線、山科三条雨水幹線、朱雀北幹線等を前年度に引き続き施工しています。

ポンプ場では、砂川ポンプ場で雨水滞水池築造工事を継続して施工しています。

終末処理場では、鳥羽水環境保全センターで水処理監視制御設備及び汚泥処理施設管廊築造工事等、石田水環境保全センターで脱臭設備工事等を前年度に引き続き施工しています。

## 2 経理の状況

当期における経理の状況は、次のとおりです。

### (1) 損益計算書

(平成26年4月1日から26年9月30日まで)

損 失 の 部	金 額	利 益 の 部	金 額
	千円		千円
公共下水道事業費用	11,231,677	公共下水道事業収益	22,482,085
事業費用	4,373,904	事業収益	22,329,581
下水道維持費	893,060	下水道使用料	11,835,104
下水処理費	2,563,959	他会計負担金	10,260,417
業務費	617,400	その他事業収益	234,060
水洗便所普及 対策費	49,718		
総係費	249,579	事業外収益	152,504
資産減耗費	188	受取利息	13,810
		他会計負担金	97,518
事業外費用	3,128,625	長期前受金戻入益	17
支払利息及び 企業債取扱諸費	3,120,422	雑収益	41,159
雑支出	8,203		
特別損失	3,729,148		
当期純利益	11,250,408		
合 計	22,482,085	合 計	22,482,085

- 備考 1 当期は、減価償却費を計上していません。  
 2 当年度減価償却費予定額は、263億8,337万円です。  
 3 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

## (2) 貸借対照表

(平成26年9月30日現在)

資 産 の 部	金 額	負債及び資本の部	金 額
	千円		千円
固 定 資 産	725,249,548	固 定 負 債	330,491,831
有形固定資産	719,172,423	企 業 債	308,319,710
無形固定資産	6,038,785	企業債償還積立金	18,113,804
投資その他の資産	38,340	他会計借入金	350
		リ ー ス 債 務	57,446
流 動 資 産	24,712,964	引 当 金	4,000,521
現 金 預 金	8,385,490	流 動 負 債	17,002,910
未 収 金	2,273,235	企 業 債	13,292,577
有 価 証 券	2,697,413	企業債償還積立金	2,768,710
貯 蔵 品	12,414	リ ー ス 債 務	11,773
保管有価証券	300,000	未 払 金	982
仮 払 金	27,214	前 受 金	393,852
短期貸付金	8,000,000	預 り 金	235,016
前 払 金	3,011,643	預り有価証券	300,000
その他流動資産	5,555	繰 延 収 益	175,893,575
		長 期 前 受 金	175,893,575
繰 延 勘 定	11,763	資 本 金	177,852,885
企業債発行差金	11,763	剰 余 金	48,733,074
		資 本 剰 余 金	8,937,560
		利 益 剰 余 金	39,795,514
合 計	749,974,275	合 計	749,974,275

備考 1 有形固定資産の減価償却累計額は、5,804億2,359万円です。

2 消費税及び地方消費税相当額を含みません。

### 3 その他財政事情を明らかにするために必要な事項

#### (1) 企業債の状況

当期における企業債の状況は、次のとおりです。

(平成26年9月30日現在)

区 分	期首未償還額	当期借入額	当期償還額	期末未償還額
	千円	千円	千円	千円
建設企業債	326,503,086	235,000	9,481,074	317,257,012
資本費平準化債	25,249,989	0	12,199	25,237,790
合 計	351,753,075	235,000	9,493,273	342,494,802

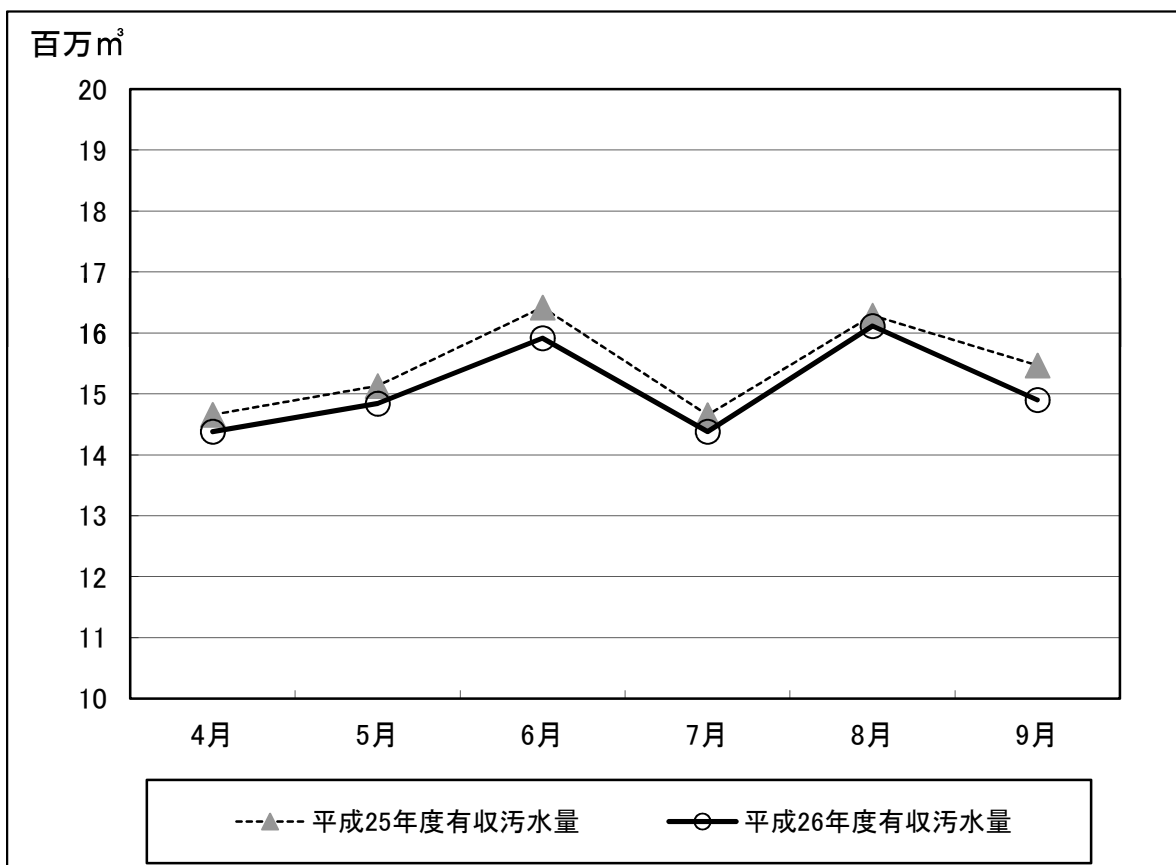
#### (2) 一時借入金の状況

当期末現在の一時借入金は、ありません。

(3) 有収汚水量

当期における有収汚水量は、次のとおりです。

月別 / 項目	有収汚水量
平成	m <sup>3</sup>
26年 4月	14,381,976
” 5月	14,840,707
” 6月	15,915,107
” 7月	14,380,162
” 8月	16,113,935
” 9月	14,900,593
合計	90,532,480
1日平均	494,713
前年同期1日平均	506,073



(行財政局総務部総務課)